五個荘地区まちづくり情報誌

2014/1　No.47

GO!まち協

五個荘地区まちづくり協議会スローガン　心イキイキはつらつと　皆んなが愉（たの）しむ　まちづくり

特集 2014年 午年 年男・年女

東日本大震災復興支援コンサート「届け この思い」
（12月15日 五個荘コミュニティセンター）

ここにのひと

南（みなみ）　和美（かずみ）　さん（五個荘金堂町）

古代の布に魅せられて

織物に興味をもったのは子育てが終わった頃、琵琶湖博物館で催しを見たのがきっかけでした。麻の繊維から糸の取り出し方を習うと京都、奈良、福島へと足を運びました。遺跡発掘の仕事をするなかで機織り道具の出土により湖東地域の織布にも興味をもちました。傍らでは、草木染めで糸の染色を行うようになり、5、6年前からは能登川博物館でタンポポを始め、市の花であるムラサキなどいろんな野草で草木染めを行っています。

近年、金堂に移り住んで近江商人が麻を全国に行商したということを知り、より身近に麻布を感じるようになりました。皆さんにも麻から上布ができるのを知っていただければと思います。ぜひ、一度お越しください。

手織りの麻布と市の花ムラサキによる草木染

麻の繊維と取り出した糸

わがまち一番　【五個荘木流町】

示し（しめし）

春の建部祭り昼渡りの際、三村（木流・三俣・下野）の示しが行われます。文明開化時の衣装をした役人衆の横に並んだ、近江商人の旅姿に紋付羽織、中折帽姿の木流村宮世話の上席二人が交代で三俣村・下野村の役人衆や駕輿丁（かよちょう）方を前に渡御中の注意事項をテンポよく口上します。この示しは明治十九年に定められました。

五個荘木流町(kinagase)自治会

五個荘地区まちづくり協議会

木流町の今昔

明治十三年の「物産誌」では人口三二四人、戸数七九を数える。そのうち農家は五七、職人三（大工）、商家十九となっている。商家は蚊帳の行商を主として、京都に出店しているものもいた。農家の副業は麻布職、採薪など。

農家一戸当たりの耕作面積は七反と大きい。建部下之郷の惣鎮守社の苗村神社鎮座する。

平成二六年一月一日現在　人口二三〇人、戸数九〇であり、人口は大きく減少している。

♪ ♪ まちの話題 ♪ ♪

二十歳のつどい

～感謝・絆・夢、そして飛翔 2014～

五個荘地区では、今年131名の若者が成人式を迎えられました。

1月12日、てんびんの里文化学習センターにおいて『五個荘地区二十歳のつどい』が開催され、希望を胸に新成人が集い、恩師や旧友との懐かしい再会に歓声があがっていました。

この日のために実行委員7名が、昨年の11月から準備をすすめてこられました。
記念写真撮影のあと、歓談や抽選会などで盛り上がり、華やかな雰囲気の中で和やかなつどいとなりました。

新成人の皆さん、社会人としての自覚を持って、果てなき夢を抱き大空へ羽ばたこう！

磯部大樹（だいき）さん

私たちは二十歳を迎え、職業に従事している人や学業に励んでいる人、結婚して家庭を築いている人など立場は様々です。

そのように大きくなれたのも私たちを支えてくれた両親や家族、学校の先生そして共に歩んできた友達のおかげです。一人の力ではそこまで成長できなかったと思います。

これからも社会人として力強く、優しく、そして逞しく人生を歩んでいきたいと思います。

澤田天音（あまね）さん

長くもあり、短くもあった二十年間。人生のひとつの大きな区切りに立った今、思えば一人で生きてきたことなど一度もありませんでした。

常に誰かに支えられ、助けられていました。この先もそれは変わらない事でしょう。

ただ、これからの人生は支えられるだけでなく、支える立場になっていかなければなりません。「大人になる」ということの意味はそういう事なのではないでしょうか。

観峰館かきぞめ大会

新年、気持も新たに・・・

1月11日、観峰館において今年で第18回目となる「観峰館かきぞめ大会」が行われました。幼児から小・中学生を対象に54人ずつ4部に分け、全216人が思いを新たに書き初めを行いました。学年別に用意された課題について、20分間という限られた時間の中で2枚の作品を仕上げていきます。

ピーンと張りつめた緊張感たっぷりの会場で、いかに集中して紙に向かうか。真剣な子どもたちの表情に、見ているこちらにもひしひしと伝わるものがありました。

書き終えた後は自分の作品を持って一斉に記念撮影。お楽しみ抽選会も行われ、子どもたちにとっては新年から楽しい一日となったことでしょう。

2014年 午年 年男・年女

新年明けましておめでとうございます。
今年の干支は午。 十二支では動物の「馬」にあてられています。
馬は、広い大地を自由に駆け回るイメージがあり、大きく天空に羽ばたける良い年になりますことを願ってやみません。
午年の年男・年女の皆さんに今年の抱負を伺いました。

伊谷 孝太 くん　12歳　　平成14年生まれ

僕は今年、年男になります。僕は相撲をやっています。
去年は滋賀県相撲大会で２位、関西相撲大会で初戦敗退という残念な結果になってしまいました。なので、年男になった今年は相撲大会で１位を取りに行きたいです。
そして、次に年男になる時には相撲のプロになっていたいです！

梶原 翼 さん 24歳　平成２年生まれ

明けましておめでとうございます。昨年は自分にとって結婚という大きな節目の年でありました。家族ができてうれしく思っています。
プライベートや仕事で色んな経験した事を生かしてしっかりと考えながら行動をし、よりよい一年にしていきたいと思います。

辻 文博 さん　36歳　昭和53年生まれ

30代半ばを迎え、社会人としても脂ののった時期だと感じていますし、また二児の父親としても子ども達の成長と共に人間的にもより成長していきたいと思っています。
子どもを育てていくにつれ、両親や地元の皆さんのありがたさをひしひしと感じます。今年も家族みんなが健康に過ごせますように。

辻 文恵 さん　48歳　昭和41年生まれ

長男・次男に続き、三男も今春、高校を卒業し、社会人となります。
彼らと夢を共有し、その夢に向かって剣道に打ち込んだ時間は人生最高の宝物となりました。
今後も今までと変わらず、家族をはじめ、支えてくださっている全ての人に感謝の気持ちを忘れず、健康で楽しく過ごしていけたらと思っています。

（書　川戸健一）

来福駒（作　中村かづ子）

北村 昌巳 さん　60歳　昭和29年生まれ

５回目の午年を元気に迎えることができました。１月で還暦になり、長年勤めた会社を定年退職します。会社中心の生活を今まで支えてくれた妻や家族に感謝し、これからは家庭のことや地域の活動にできるだけ関わっていきたいと思っています。
60の手習いでいろいろなことにチャレンジして、また新しい自分発見ができればいいかなと楽しみにしています。

深尾 香苗 さん　72歳　昭和17年生まれ

新年　明けましておめでとうございます。
五個荘に生まれ育ち、今こうして年女として皆様と新年を迎えられ感謝の気持ちでいっぱいです。
行商に歩き、今では待っていてくれるお客様も増えました。今まで続けられているのは、地域のお客様の支えあってとうれしく思います。
また、生活改善実行グループや青空市場の一員として活動させていただき、仲間がいるって幸せだと感じています。
これからも、近江商人の名に恥じないよう、「三方よし」の精神で皆様の笑顔を励みにできるところまでやってみようと思いますのでよろしくお願いします。

垣谷 安江 さん　84歳　昭和５年生まれ

明けましておめでとうございます。84歳の新年を家族とともに迎えさせていただきました。週２回のデイサービスを利用させていただき他の利用者さんと共にちぎり絵等を楽しんで感謝しております。
食事は何でも作ってくださったものをバランスよく食べています。健康維持で一日一日過ごしたいです。

田中 希美 さん　96歳　大正７年生まれ

昭和13年に東京から嫁いで来られて以来、更生保護婦人会（現更生保護女性会）の立ち上げ等、地域でも積極的に活躍されました。
健康の秘訣は手洗いとうがいの励行とのこと。新聞や辞書も眼鏡無しで読まれ、おせち料理もご自分で作られたそうです。週１回のデイサービスでお友達とおしゃべりするのが楽しみだとおっしゃる田中さん。和服がとてもお似合いです。

Pâtisserie
DE-JI
depuis 2013
東近江市佐生町 156-1
TEL 0748-26-7251　FAX 0748-26-7253

わが家のアイドル

松居家 10人家族!!!
ずっとず～っと仲良し姉妹でいてね♡

五個荘奥町
松居　芽以（めい）ちゃん　3歳
未倭（みわ）ちゃん　6カ月

五個荘クイズ

秋の終わりから冬にかけての寒い時期に咲き、童謡「たきび」の歌詞にも登場する花は何でしょう？

① 山法師　② 山茶花　③ 白山木

正解者の中から、2名様に七福堂のあられセットをプレゼントします。ふるってご応募ください♪

しめきり 2月28日

応募方法
FAX・Mailで、または応募用紙を切り取って下記に設置の応募箱に投函してください。
応募箱（五個荘支所・五個荘コミュニティセンター・ぷらざ三方よし・てんびんの里文化学習センター）

・当選者の発表は発送をもって替えさせていただきます。
・個人の情報は目的以外には使用しません。

FAX：48-6454　Mail：go-machikyo@e-omi.ne.jp

前号の答え　② みずかがみ

キリトリ

GO!まち協 No.47

こたえ＿＿＿＿＿＿

住　所＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿

連絡先＿＿＿＿＿＿

お茶っパーク住民広場＆子ども屋台村

日　時　　3月2日（日）　9：30～15：00
場　所　　五個荘コミュニティーセンター
主　催　　住民広場実行委員会・地域教育協議会

うどん・スウィーツ・カフェ・手作り小物販売（ワークショップもあります）
大ホールでは子どもも大人も楽しめる劇団がやってきます。

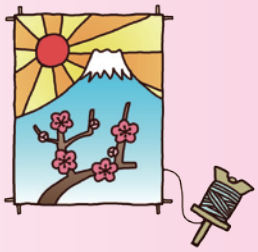
みんな来てね～
●★▲くわしくは各戸配布のチラシをご覧ください●★▲

笑顔と歓声が溢れる中央公園

今年のお正月　皆さんはどのように過ごされましたか？
良い天気に恵まれた新年、中央公園では、ローラースケートに興じる若者や、遊具で遊ぶ子供たち、凧揚げに夢中になる親子づれなどの歓声が絶えることはありませんでした。
中央公園は平成 8 年に芝生広場とローラー広場をあわせもった公園として完成、町のイベントなどに活用されるとともに、住民の憩いの場となりました。最近では、「はらっパーク」や「グランドゴルフ」などにも広く利用され、休日には子供たちやファミリーでいっぱいになります。横を流れる大同川には、沢山の鴨が住みつき、ほほえましい姿を見せてくれます。
秋には新図書館も開館の予定で、周辺施設ともども、癒しの空間として、公園を大切にしていきたいものです。

もちつき大会＆ミニ凧づくり

1月11日に五個荘コミュニティセンターで、五個荘地区子ども会とコミセンの主催で「もちつき大会＆ミニ凧づくり」が開催されました。
お正月の伝統行事である餅つきですが、今は杵と臼を使った餅つきが姿を消しつつあります。そこで昔ながらの餅つきを行おうと企画されました。参加した子ども達は、大人の手を借りながらも重い杵を持ち上げ大奮闘。手作りの餅をみんなで美味しくいただきました。
午後からは、ミニ凧づくりに挑戦。東近江大凧会館から来ていただいた講師に習い、思い思いの凧を完成させ、中央公園で凧上げをしました。この日はいい風に恵まれ、どの凧も気持ち良く青い大空に一直線。世界に一つだけの凧は、みんなの気持ちを乗せて、天高く舞い上がりました。
今年も、みんなにとっていい年でありますように！



まちの予定

1月 24日（金） ダンボールコンポスト講習会　19：30～21：00 （コミセン）
25日（土） 地域福祉講演会　講師：さくら福祉の会　橋本たか子　10：00～11：30 五個荘地区社会福祉協議会（学習センター）
26日（日） 冒険遊び場「はらっパーク」 13：30～ （中央公園）
31日（金） キッズひろば　10：00～11：30　五個荘地区社会福祉協議会 （高齢者能力開発センター）

2月 1日（土） 防災研修会　京都市市民防災センター　8：00～17：30
8日（土） 障がい児親子サロン　10：00～12：30　東近江市社会福祉協議会(コミセン)
15日（土） 歌声喫茶「ぴーちくパーク」 14：00～16：00 （学習センター）
21日（金） なかよしひろば（一日入園） 14：20～15：30（五個荘東幼稚園）
23日（日） 冒険遊び場「はらっパーク」 13：30～ （中央公園）

3月 2日（日） お茶っパーク住民広場＆子ども屋台村　9：30～15：00 （コミセン）
8日（土） 障がい児親子サロン　10：00～12：30　東近江市社会福祉協議会(コミセン)
11日（火） 中学校卒業式 （五個荘体育館）
15日（土） 歌声喫茶「ぴーちくパーク」 14：00～16：00 （学習センター）
18日（火） 修了式（東幼稚園・北幼稚園・さくらんぼ幼児園（幼））
19日（水） 小学校卒業式
20日（木） 卒園式（さくらんぼ幼児園（保））
21日（金） キッズひろば　10：00～11：30　五個荘地区社会福祉協議会 （高齢者能力開発センター）
23日（日） 冒険遊び場「はらっパーク」 13：30～ （中央公園）

五個荘コミュニティセンター ☎0505-801-2737

1月23日（木）大人の科学講座～鉱物のお話ともの作り～　13：30～15：30
1月25日（土）簡単手作り絵本講座（第1回） 13：30～15：30
2月15日（土）簡単手作り絵本講座（第2回） 13：30～15：30
2月21日（金）五個荘地区人権の集い　19：30～21：30
2月23日（日）歴史公開講座　五個荘の歴史とロマン　13：00～15：00（中学生以上）
2月26日（水）シニア世代の年金について学ぶ講座　13：30～15：00（市内在住・在勤の成人）
3月　4日（火）プロの料理人に学ぶ料理講座（全2回） 13：30～16：00

てんびんの里文化学習センター ☎0505-801-7100

開催中～1月31日（金）手づくりコーナー～新年編～　9：00～17：00
2月　1日（土）～28日（金）手づくりコーナー～卒業編～　9：00～17：00
3月　1日（土）～30日（日）手づくりコーナー～ひな祭り編～　9：00～17：00
3月23日（日）おうみ狂言図鑑２０１４　14：00～　演目：末広がり・仏師・安土城ひみつ会議
入場料：一般2,000円　18歳以下1,000円（全席指定）

近江商人博物館 ☎0505-802-3134

2月　8日（土）論語素読講座【後期】5回目　10：00～12：00
2月15日（土）折り紙で四季折々～ひなまつり～　10：00～12：00
2月22日（土）金襴を使った折り雛教室　13：30～16：00　ぷらざ三方よし　要申込（参加費：1,000円）
3月　1日（土）貝合わせ遊びとお茶会　10：00～
3月　8日（土）論語素読講座【後期】6回目　10：00～12：00

五個荘つどいの広場 ☎0748-45-5558

つどいの広場　毎週　火・水・木　10：00～15：00　場所／五個荘すみれ保育園内
おでかけ広場　時間／10：00～11：30　2月7日(金)〈日吉町〉、2月14日(金)〈石塚町〉
3月7日(金)〈ぷらざ三方よし〉、3月14日(金)〈宮荘町〉
けんこう広場　3月19日（水）　時間／10：30～11：30　場所／五個荘つどいの広場
みらいちゃんルーム　1月29日(水)　2月26日(水)　3月11日(火)　時間／10：00～11：30　場所／ぷらざ三方よし

五個荘図書館 ☎0505-801-2030

おたのしみお話会　1月25日（土）、2月22日（土）、3月22日（土）
おひざでだっこのおはなしかい　2月6日（木）、3月6日（木）
「春うらら・ほっとらいんコンサート」 3月9日（日） 定員50名　要申込み　※ 無料

観峰館 ☎0748-48-4141

《春の打掛衣裳とおひなさま》《ひなまつり作品公募展》《コレクション展０４－昭和の移ろい》2月1日（土）～3月23日（日）
入館料：高校生以上200円

商家につたわるひな人形めぐり開催

2月　1日（土）～3月23日（日）商家に伝わるひな人形めぐり　9：00～17：00（入館16：30）(近江商人博物館)
2月15日（土）～2月16日（日）にんげん雛まつり　10：00～11：30、13：30～15：00 （近江商人屋敷　外村繁邸）

まち協の窓

高齢者徘徊早期発見・保護訓練（北地区）

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりをめざして

11 月 24 日、自治会連合会主催により、認知症徘徊高齢者早期発見保護訓練が北地区で開催されました。この取り組みは、年々多くなる認知症高齢者への理解を深め、地域でフォローできる体制づくりを目的として、まち協や医師会、消防団、地域の高齢者施設などの協力を得て実施されました。

事前に 2 回の研修を受けた参加者は、当日、地区内を歩いて回り、徘徊役を発見、声掛けと保護の訓練をされました。

参加された方からは、「今回は訓練だが、実際に起これば徘徊者の保護は難しく、また徘徊者への声掛けのタイミングや話しかけ方も大変難しい。命にかかわることでもあり、地域内で早期に対応できる体制づくりが急務だ」と語っておられました。

各地区を二巡し今回で 6 回目の訓練となり、多くの問題や課題も浮きぼりになってきました。実行委員会では、地域ぐるみで支えあえる安全安心なまちづくりをめざして、次年度に向けて新しい展開を模索されています。

東日本大震災復興支援コンサート「届けこの思い」 和楽器演奏集団 独楽（こま）

年の瀬を迎えた 12 月 15 日に五個荘コミュニティセンターで、和楽器演奏集団「独楽」のコンサートが開かれました。まち協が五個荘コミュニティセンターの指定管理を受けてから、大ホールを使った最初のビッグイベントとなりました。

「独楽」は東日本大震災以来、「震災があったことを忘れないでほしい」との被災地からのメッセージを受け止め、決してカタチには見えないが “元気・勇気・笑顔” を「届けこの思い」をテーマに東日本大震災復興支援コンサートを全国で開いておられます。

今回は地元のてんびん太鼓「郷音」も特別ゲストに加わり、五個荘地区まちづくり協議会も後援しました。

まち協の八田英雄会長がオープニングの挨拶をし、「独楽」の演奏が始まると迫力満点の和太鼓、津軽三味線、箏、尺八の日本が誇る邦楽器の音色に観客は魅了され、たちまち舞台と満員の客席が一体になりました。特別ゲストとしてシンガーソングライター 松本隆博さん（ダウンタウンの松本人志のお兄さん）のトークとギター、箏、尺八の演奏で歌った母への讃歌「すきやき」も忘れることができない一曲となりました。

二部では、「独楽」と「郷音」の素晴らしいセッションで「郷音」が 5 年間練習を積んできた津軽三味線も大きな拍手に包まれました。

フィナーレはそーらん節を全観客と出演者全員が一つになって歌い、感動に包まれた瞬間でした。ロビーでは被災地で製作された小物がたくさん販売され、当日集まった募金と一緒に被災地に贈られることになっています。

コンサートに参加した全ての人々の強い「思い」は、被災地へしっかりと届いたことでしょう。

編集後記

明けましておめでとうございます。

今年も、皆様の協力を得て広報誌作りにがんばっていきます。

お・も・て・な・し・の心で、じぇじぇじぇと思えるようなアベノミクスに負けないよう、倍返しで頑張っていきます。

今年もよろしくお願いいたします。　（N. H）

発行・編集 ／ 五個荘地区まちづくり協議会　事務局 ／ 〒529-1422 東近江市五個荘小幡町318
TEL：0748-48-7303　FAX：0748-48-6454　IP：0505-801-7303　Mail：go-machikyo@e-omi.ne.jp